

六年教室前の廊下に、運動会に向けての六年生の意気込みが掲示されています。「下級生をしっかりとまとめ、最後まであきらめずに仲良く取り組み、最高の運動会にしよう」など、六年生のリーダー意識や仲間意識の高揚は、他学年にもよい影響をもたらしています。優しく頼りがいのある六年生に引っぱり張られ、毎日の運動会練習は活気にあふれています。

授業の様子から



【1年】体育
運動会に向けての練習です。ラジオ体操をしています。音楽に合わせてながら、動きをそろえて取り組んでいます。



【2年】算数
2けたの数のひき算の学習です。実際の生活の中で、買い物をする場面を思い起こさせながら取り組んでいます。



【3年】道徳
「ゲゲゲの鬼太郎」の作者、水木しげるさんがいくらマンガを描いても売れなかったときの気持ちについて考え、発表しています。



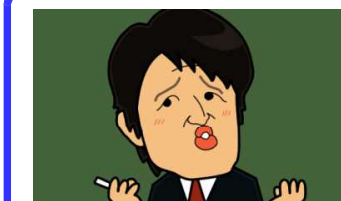
【4年】算数
折れ線グラフに表したり、読み取ったりするときに気を付けることについて考え、発表しています。



【5年】外国語
「I like ~」などを使って、ペアで自己紹介をしています。お互いに教え合ったり、身振り手振りを交えたりしながら取り組んでいます。



【6年】外国語
自分の好きなものや宝物などを、相手に紹介しています。「I'm good at ~」などを使いながら、ペアで紹介し合いました。



「今年、林修先生の『いつやるの?』が、『いつまでやるの?』」と3ヶ月でみてはどうでしょうか。

私たちが勉強も同じことが言えるのです。また、勉強に限らず、どんなことでも満足できる結果に結びつけるためには根気強さが大切であるということがあります。

「組の成果はいつ現れる?」

新年度もスタートして一ヶ月が経ちました。生活にも慣れた。また違った児童の顔が見えるようになってきました。

昨年度から引き続き、子どもたちの「自学」を曜日ごとに学年を変えて見えています。それぞれ学年が一つ上がったことで、取り組む内容やノートの使い方もより工夫が見られるようになりました。

やはり、高学年になると学習内容もぐっと難しくなっているように思えます。この先、取り組んでいる割になかなか目に見える効果が出てこない、一体いつに

出たから成績が上がってくるのか、そう考える人が出てくるかもしれません。本当に一生懸命勉強を始めて、目に見えて成績が上がりに始めるのはどれくらいかかると思っていますか。

例えば、外国の人の英語を意味のある言葉として聞き取れるようになるには三ヶ月かかるそうです。ある日突然、聞き取れる自分には気が付くといひます。

また、それは勉強だけではなく、その成果が目に見えるのは、やはり三ヶ月後からといひます。毎日繰り返しのトレーニングにおいても、その成果が目に見えるのは、「上達」はある日突然にやってくるものです。しかし、それはしっかりとした取組に裏打ちされたものです。

自転車に初めて一人で乗ることができたもののように、たどきのことを思い出し、乗ることができるようになりました。練習しても、一人で乗れる距離が今日より明日、明日より後日と順調に伸びていくことはなかなかありません。練習を続けるだけでは、目に見える成果が出ないまま何日も練習を繰り返しては、ある日突然、乗れる日がおとす

つしま

組の成果はいつ現れる?

